

～12月の星空～



国立天文台 天文情報センター

2020年12月中旬 20時頃
東京の星空

© 国立天文台

～注目の星たち～

- ・13～14日…ふたご座流星群 (1時間に約60～80個)
- ・15日……新月/皆既日食 (日本では見られない)
- ・30日……満月



☆今月のおはなし☆

皆さんこんにちは(*^▽^*)

自然の家では夜の気温がマイナスまで下がりとても寒いですが、みなさんの地域はどうですか？
寒い分空気がとても澄んでいてきれいな秋の星座が見えています。東の空には少しずつ冬の三大角が見えてきていますね。
太陽系惑星の1つである火星がほぼ真上より少し南側に見えてきています。自然の家の望遠鏡で観察すると、「極冠」と呼ばれる水の氷・二酸化炭素の氷でできた白い部分が見えます。地球でいうところの「北極」「南極」の氷にあたります。

今月は三大流星群の1つでもある「ふたご座流星群」が中旬ごろに見えます。1時間当たり60個以上の流星が見え、しかも今年には新月で月明かりが無いので、観測を行うには最高の条件なのです。

どんどん寒くなってきているので温かい服装で星空を楽しみましょう！ それでは皆さん良いお年を (*^▽^*)ノシ